

学校評議委員会資料 平成21年度「学校評価結果」

指導及運営の重点	評価項目	自己評価						保護者アンケート					総合評価	取り組みの状況	改善の方向
		A 4p	B 2p	C -2p	D -4p	H21 評価 得点 化	昨年 評価 得点 化	A 4p	B 2p	C -2 p	D -4p	H21 評価 得点 化			
力をつける学習活動の展開	自ら考え、共に学び合う授業を目指し、創意工夫を積極的に行うことができたか。	9%	82%	9%	0%	1.8	0.8	3%	58%	32%	6%	0.4	B	英語科の少人数指導を中心に、各教科で生徒が「自ら学ぶ」ための授業改善の研究を行った。	数学科(英語科)を中心に少人数指導を行う、教育機器の活用や教材の工夫をし、楽しく分かりやすい授業づくりをする。基礎学力の一層の定着のために、補習の実施を検討する。
	学び方(特に聞く・話す)の定着を図ったか。	25%	50%	25%	0%	1.5	1.0	3%	61%	32%	3%	0.6	B	授業中の話の聞き方や発表の仕方について段階表を作成し掲示して指導に役立てた。	今年の指導を継続するとともに、生徒の学習委員会の活動としても、授業を高めていくような取り組みを進める。
	家庭の学習習慣の定着を図ったか。	20%	60%	20%	0%	1.6		30%	42%	22%	6%	1.3	B	3年生は補助教材「新研究」を計画的に取り組ませた。自主学習ノートの紹介や交流、「自学のすすめ」を発行し自主学習の内容について指導に着手した。	「家庭学習の手引き」を作成し保護者への協力を依頼する。自主学習の学習プリントが自分で取り出せるようなパソコン活用を試行する。
	「温故知新の時間」は効果的に運営できたか。	23%	77%	0%	0%	2.5	2.8	30%	48%	22%	0%	1.7	A	「温故知新」は地域講師の協力を得て、ふるさと教育として定着してきた。各学年では地域を生かした、1年生の福祉学習、2年生の職業体験学習、3年生の下田歌子学習を行っている。	体験活動は大切にしつつ、調査・まとめ・発表など、年間計画の見直しをする。地域の先人に学ぶことや、学んだことを生かすという視点について検討する。
心の通い合う活動の展開	月目標は効果的だったか。	38%	62%	0%	0%	2.8	2.7	*	*	*	*		A	教室に掲示し、月初めの全校集会で教師が関係する話をして意識化を図った。	毎月の初めだけでなく、月の途中にも意識してできるよう校内放送などで働きかける。
	自ら進んで奉仕しようとする委員会活動を育てられたか。	8%	69%	23%	0%	1.2	0.2	*	*	*	*		B	生徒会の委員会は6つに再編した。学級の6つの班が担うようにして、活動分担をはっきりさせた。	当番活動だけでなく、自分たちの生活をよりよくしていくように、課題意識を持たせるようにする。
	一人一人を高められるよう意図的・計画的な学級経営ができたか。	17%	58%	25%	0%	1.3	0.7	31%	54%	15%	0%	2.0	B	行事の取り組みや日常の生徒会・委員会活動を通して、学級の一体感や互いに協力し合う関係づくりになど取り組んできた。	学級目標を大切に学級の財産づくりをとおして、自信と誇りをもたせるように取り組む。
	学校行事は生徒が主体となっていたか。	15%	85%	0%	0%	2.3	1.8	16%	66%	16%	1%	1.6	A	生徒会や学年の実行委員が運営の中心となり取り組んでいる。体育祭や合唱の集いなど、上級生がよい姿を見せることができている。下級生は伝統を受け継ぐ意識を持ち取り組んでいる。	行事を通して育てるものを、より明確にして指導に当たる。
	教育相談活動を意識して指導できたか。	31%	38%	31%	0%	1.4	1.5	16%	46%	33%	5%	0.7	B	毎日の生活ノートへの朱筆、二者懇談の実施を通して生徒理解と諸課題の早期発見・対応に努めた。不登校生徒について、関係機関との連携や複数教職員による対応に努めた。	「生徒とよく話す岩中の先生」と評価を受けるように、対話を基本とした生徒理解や教育相談を行うよう、生徒と活動や時間をより一層共有する。
	生徒に思いやりの心を身につかせたか。	15%	69%	15%	0%	1.7	-0.8	17%	58%	23%	2%	1.3	B	学級経営の中で仲間の努力を称えあう場を大切にしてきた。仲間関係のトラブルには、すばやく対応するように努めた。また、「命の講演会」を実施し相手の立場に立つて考え行動することの学習をした。	日常生活の乱暴な言葉遣いを直し、温かい言葉がけができるように学校全体の言語環境を整える。言語力の涵養の一環として、朝読書を位置づける。
	生徒への正しいマナー指導に努めたか。	23%	69%	8%	0%	2.2	1.4	28%	53%	19%	1%	1.8	A	朝の挨拶や授業の挨拶など生徒会の活動として取り組めた。また職員室の出入りや目上の人への言葉遣い、身だしなみなど気づいたときに声をかけるよう指導した。	学校や家庭・地域でも元気のよい挨拶ができるように啓発を続ける。
健康で安全な学校生活の充実	教室経営・掲示等の教室環境は工夫し整えられたか。	31%	46%	23%	0%	1.7	0.5	28%	65%	6%	1%	2.3	A	生徒の作品掲示を増やしたり、定期的に入れ替えた。学級経営や学習の取り組みが分かり、啓発につながるような掲示づくりに着手した。	生徒の手による掲示物づくりは、丁寧な字で書くように指導する。
	清掃指導は適切に実践されたか。	31%	62%	8%	0%	2.3	1.5	41%	55%	4%	0%	2.7	A	生徒会の活動として、目標の設定や見回りによる評価を継続した。生徒が受け持つ掃除場所を固定し、責任をもって行うよう取り組ませた。	隅々まで行き届いた掃除を行うようにリーダー指導を行う。ロッカーの整頓や、空き教室の机列の整頓など、掃除時間以外にも目を向けさせる。
	施設・設備の管理は適切であったか。	0%	85%	15%	0%	1.4	0.9	31%	62%	8%	0%	2.3	A	毎月の安全点検・整備を履行した。必要な修繕については市教委へ依頼をしている。旧自転車置き場の廃材処理、旧更衣室の整頓を行い、校舎内外の環境整備を行った。	放送設備、体育館の暗幕、プールの水漏れの修繕が着工予定。生徒の希望の多い冷水機の増設は、資源回収の収益金で対応を予定している。
	生徒の自主的な部活運営を育てようとしたか。	8%	69%	23%	0%	1.2	0.7	33%	52%	13%	2%	2.0	B	部長や上級生が中心となり、秩序ある練習が行われている。	部活コーチとの連絡を取り合い、練習の効果を高めるよう努める。
保護者や地域と連携した活動	学校公開や積極的な情報発信により学校の教育活動の理解がされたか。	25%	58%	17%	0%	1.8		17%	58%	20%	5%	1.3	B	学級だより・学年だより・学校だよりの発行を進めた。また、数年来、更新されていなかったホームページを一新した。	生徒作品の街角ギャラリーの設置を依頼したい。学級通信や学校だよりの発行、ホームページの更新を進める。
	地域行事への生徒参加	71%	29%	0%	0%	3.4		*	*	*	*		A	社会福祉協議会関係や秋祭りなど、ボランティアや地域行事への参加を募ってきた。3年生や男子生徒の参加意識も高い。	生徒参加を一層奨励するとともに、地域の声を生徒に還元したい。恵那特別支援学校の移転に伴い、生徒会を中心とした交流や、夏祭り・運動会へのボランティア参加を検討する。